

用心棒

[1961年 東宝＝黒沢プロダクション]

[スタッフ]

脚本・監督	黒澤明
脚本	菊島隆三
撮影	宮川一夫
照明	石井長四郎
録音	三上長七郎
//	下永尚
音楽	佐藤勝
美術	村木与四郎

[出演者]

桑畑三十郎	三船敏郎
新田の卯之助	仲代達矢
ぬい	司葉子
清兵衛の女房おりん	山田五十鈴
卯之助の次男亥之吉	加東大介
馬目の清兵衛	河津清三郎
造酒屋徳右衛門	志村喬
百姓の小倅	夏木陽介
居酒屋の権爺	東野英治郎
名主多左衛門	藤原釜足

(白黒／シネマスコープ／モノラル／110分)

ダシール・ハメットのハードボイルド小説『血の収穫』を大胆に翻案、西部劇の手法を取り入れながら、三船敏郎演じる浪人の痛快無比な姿を描いた黒澤明による大ヒット時代劇。舞台は上州、かつて絹市で栄えた宿場町は、清兵衛一家と丑寅一家との抗争で、無法地帯と化していた。そんな宿場に流れ着いた凄腕の浪人、自称・桑畑三十郎は、両家の親分に自らを用心棒として売り込む…。撮影は、東宝撮影所横の農地に巨大なオープンセットを建て、『羅生門』(1950年)以来の黒澤組となった宮川一夫カメラマンが、複数のカメラと望遠レンズを駆使し、シネマスコープの画面を意識した見事なフレーミングで、比類のない娯楽活劇に仕立て上げた。海外でも評判を呼び、盗作騒ぎも起きた『荒野の用心棒』(1964年、セルジオ・レオーネ監督)は、主演クリント・イーストウッドをスターへと押し上げるとともに、イタリア製西部劇(マカロニ・ウェスタン)のはしりとなった。「キネマ旬報」ベストテン第2位。